

マーケットの動き（2025年7月28日～8月1日）

先週の国内リート市場は、前週末比で上昇しました。

週初より国内長期金利の低下を好感し、国内リート市場は上昇しました。その後も続伸し、2023年9月下旬以来の高値をつけました。

セクター別では、オフィスセクターや住宅セクター、商業・物流等セクターが総じて上昇しました。

投資環境見通し（2025年7月）

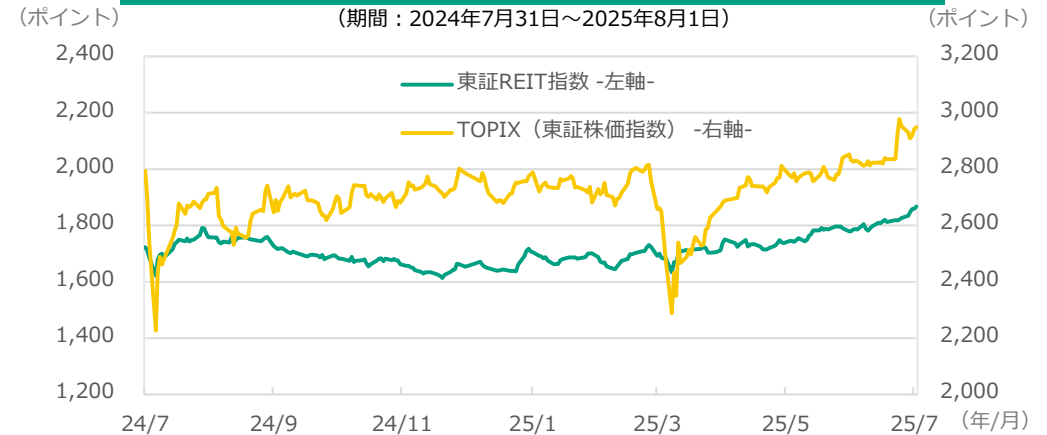
国内リート市場は、底堅く推移すると予想

物価上昇が続く環境下、国内リートも定量目標を伴う成長戦略を打ち出すようになりました。積極的な賃料引き上げやポートフォリオの質を向上させる物件入れ替え、キャピタルアロケーション（資本配分）に対する意識の高まりは評価できます。市況の回復を背景とした賃料上昇加速に加え、国内リート市場の需給環境改善により、市場は底堅く推移すると予想します。

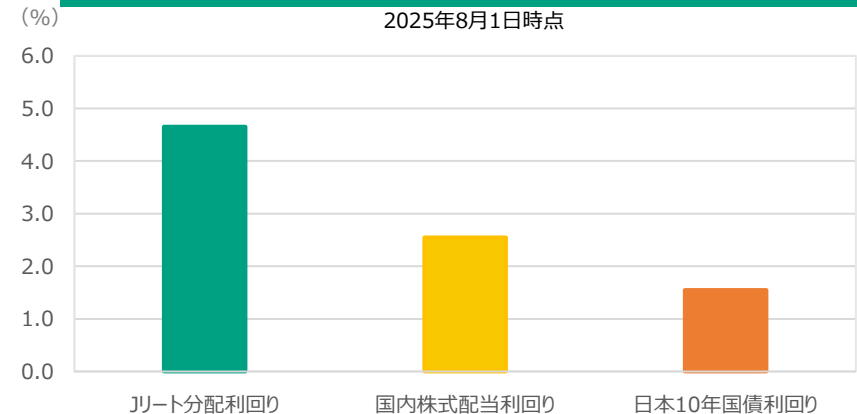
	8月1日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
東証REIT指数	1,867.19	2.20%	4.97%	9.52%	9.05%
<ご参考> TOPIX（東証株価指数）	2,948.65	▲0.11%	4.12%	5.74%	9.06%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

東証REIT指数、TOPIXの推移



国内各種資産利回り



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>